

**宮 城 県 の 経 済 動 向**  
**平成 2 9 年 第 3 四 半 期**  
**( 7 月 ~ 9 月 期 )**

# I 本県の経済概況

## 平成 29 年第 3 四半期（7 月～9 月期）の宮城県経済の動向

生産は回復を続けており、求人倍率は高水準で推移しているなど、基調としては緩やかに回復しているものの、公共投資や個人消費などに弱い動きがみられる。

- ・生産：東日本大震災の影響があるなかで、回復を続けている。
- ・住宅投資：高水準で推移している。
- ・公共投資：高水準で推移しているものの、減少傾向の動きとなっている。
- ・個人消費：足踏み状態となっている。
- ・雇用：改善傾向の動きとなっている。
- ・企業倒産：小康状態となっている。

### 生産

鉱工業生産指数は、前期比が3期連続の上昇となった。前年同期比は7期連続の上昇となった。

### 住宅投資

新設住宅着工戸数は、前年同期比が全体では2期連続の増加となった。分譲住宅は2期連続の増加となった。貸家は2期連続の増加となった。持家は6期連続の減少となった。

### 公共投資

公共工事請負金額の前年同期比は、全体では7期連続の減少となった。発注主体別にみると、国は4期連続の減少となった。市町村は6期連続の減少となった。県は2期連続の減少となった。

### 個人消費

(百貨店・スーパー、自動車、物価)

#### 百貨店・スーパー

百貨店・スーパー販売額の全店舗比較は、前年同期比が6期連続の減少となった。既存店比較は、6期連続の減少となった。

### 自動車

軽自動車の新車届出台数を含み乗用車新車登録台数は、前年同期比が4期連続の増加となった。車種別の前年同期比は、軽自動車は2期連続の増加となった。小型車は4期連続の増加となった。普通車は7期ぶりの減少となった。

### 物価

仙台市消費者物価指数(平成27年=100)は、総合指数は前期比が2期ぶりの下落となり、前年同期比は4期連続の上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は前期比が4期ぶりの下落となり、前年同期比は3期連続の上昇となった。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は前期比が2期ぶりの下落となり、前年同期比は7期連続の上昇となった。

### 雇用

有効求人倍率(原数値)は、前年同期差が11期連続の上昇となった。新規求人倍率(同)は、前年同期差が11期連続の上昇となった。実質賃金指数(製造業・事業所規模30人以上・H27=100)は、前年同期比が3期連続の上昇となった。

### 企業倒産

企業倒産は、件数は前年同期と同水準となった。負債総額は前年同期比が2期連続の増加となった。大型倒産(負債総額10億円以上)は発生しなかった。

※下線部は前期からの主な変更箇所。

## II 主な指標の動き

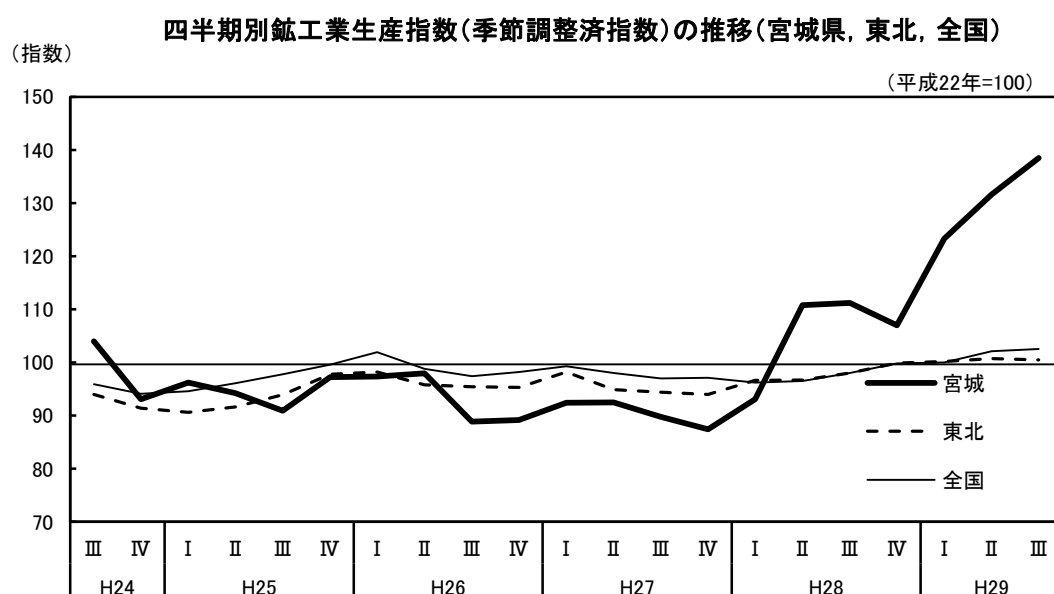
### 1 生産

#### ○ 鉱工業生産指数

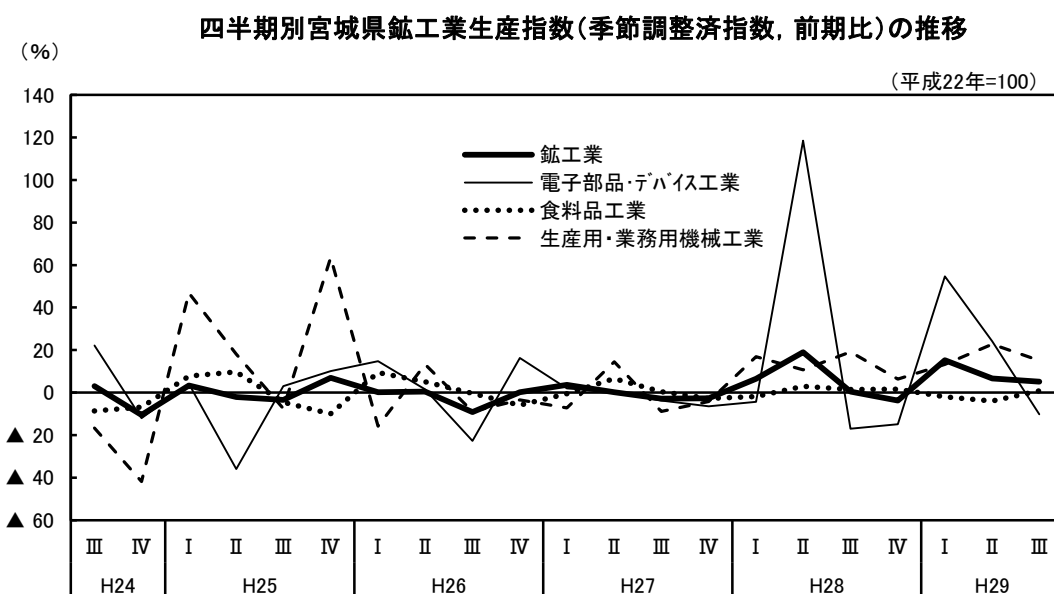
平成 29 年第 3 四半期(7月～9月期)の鉱工業生産指数(季節調整済)は 138.5(平成 22 年 = 100)で、前期比が 5.2 %の上昇となり、3期連続の上昇となった。

ウェイトの大きい業種を中心に見ると、生産用・業務用機械工業は前期比が 15.1%の上昇となり、7期連続の上昇となった。食料品工業は前期比が 0.8%の上昇となり、3期ぶりの上昇となった。電子部品・デバイス工業は前期比が 10.2%の低下となり、3期ぶりの低下となった。

前年同期比(原指数での比較)では 25.0%の上昇となり、7期連続の上昇となった。



(資料:宮城県統計課)



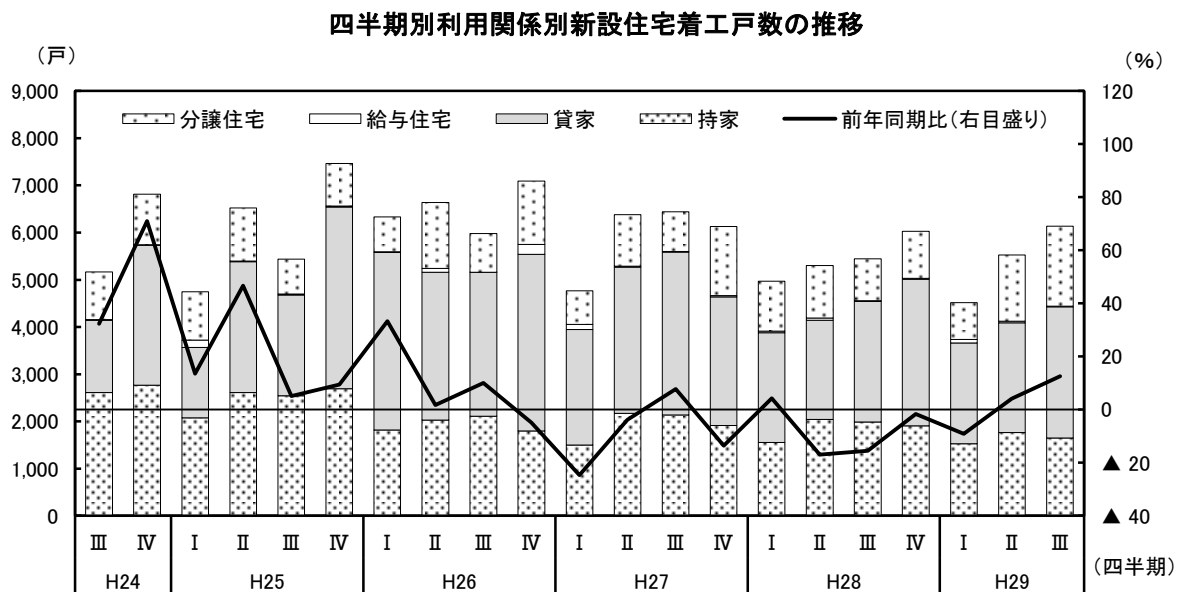
(資料:宮城県統計課)

## 2 住宅投資

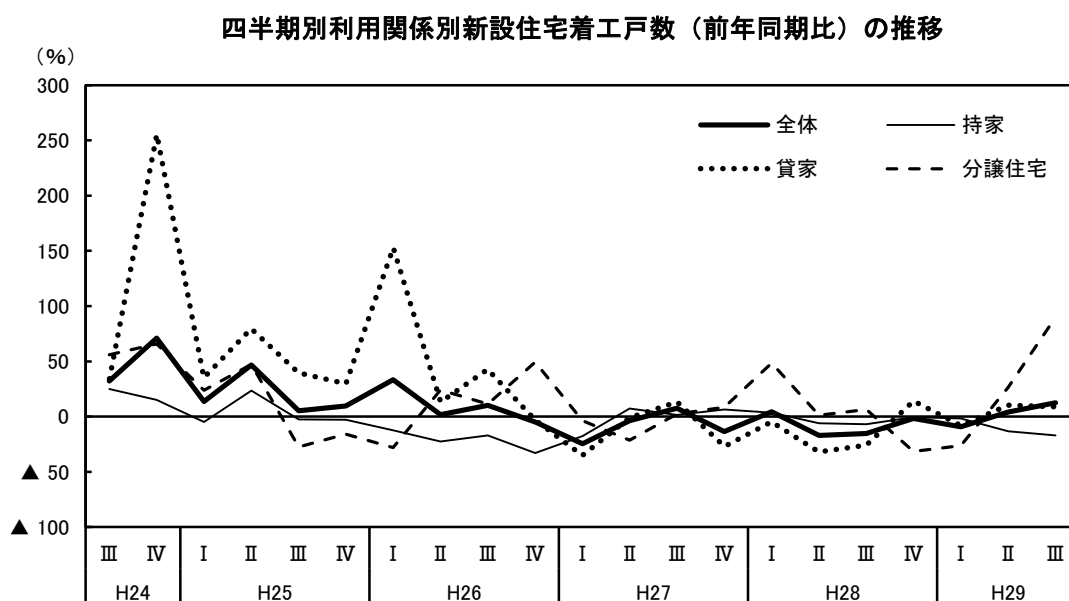
### ○ 新設住宅着工戸数

平成 29 年第3四半期(7月～9月期)の新設住宅着工戸数は 6,132 戸で、前年同期比が 12.6% の増加となり、2期連続の増加となった。

利用関係別にみると、分譲住宅(建売または分譲の目的で建築するもの)は前年同期比が 89.9% の増加となり、2期連続の増加となった。貸家(建築主が賃貸する目的で建築するもの)は前年同期比が 8.8% の増加となり、2期連続の増加となった。持家(建築主が自分で居住する目的で建築するもの)は前年同期比が 17.2% の減少となり、6期連続の減少となった。



(資料:国土交通省)



(資料:国土交通省)

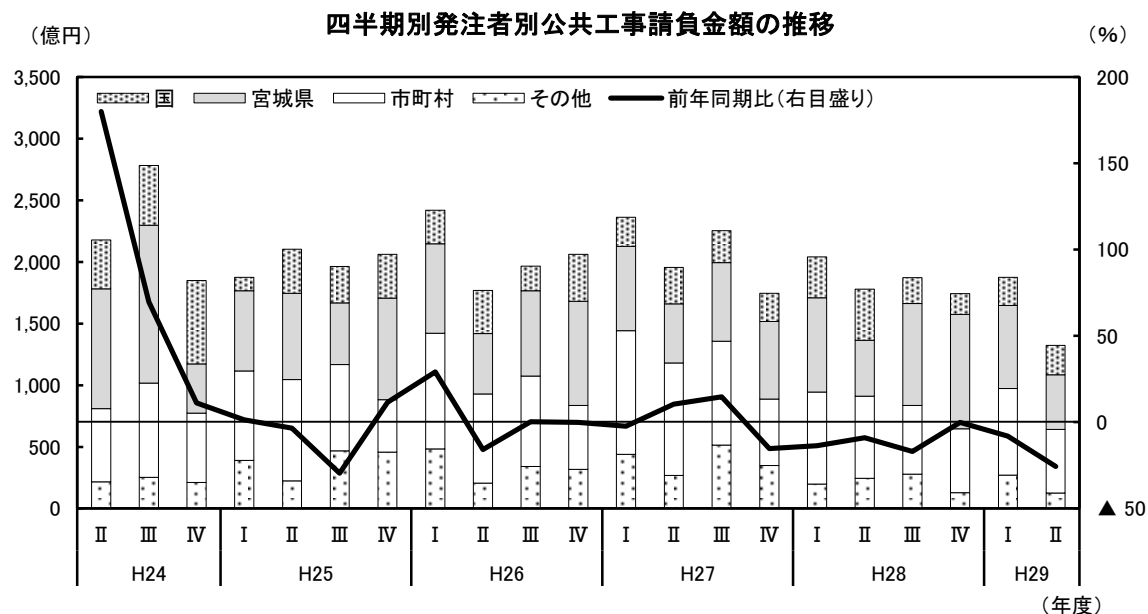
### 3 公共投資

#### ○ 公共工事請負金額

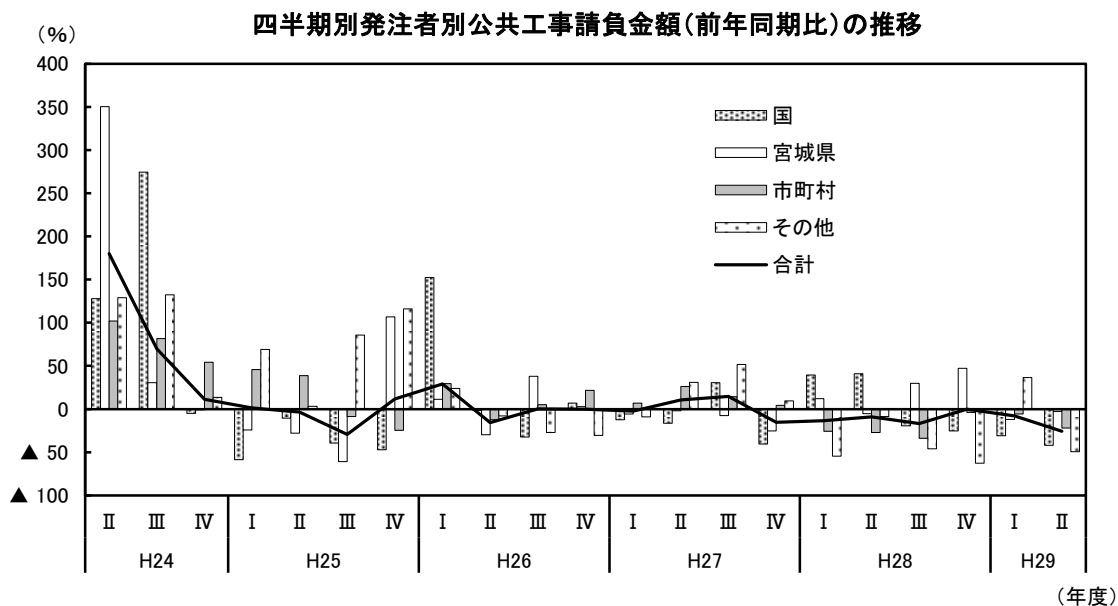
平成 29 年度第 2 四半期（7 月～9 月期）の公共工事請負金額は 1,323 億円で、前年同期比が 25.6%の減少となり、7 期連続の減少となった。

発注者別にみると、国は前年同期比が 42.0%の減少となり、4 期連続の減少となった。市町村は前年同期比が 22.1%の減少となり、6 期連続の減少となった。県は前年同期比が 2.8%の減少となり、2 期連続の減少となった。

※ 公共工事請負金額は、年度をベースにしているため、動向や資料は年度を基準としています。



(資料: 東日本建設業保証(株))



(資料: 東日本建設業保証(株))

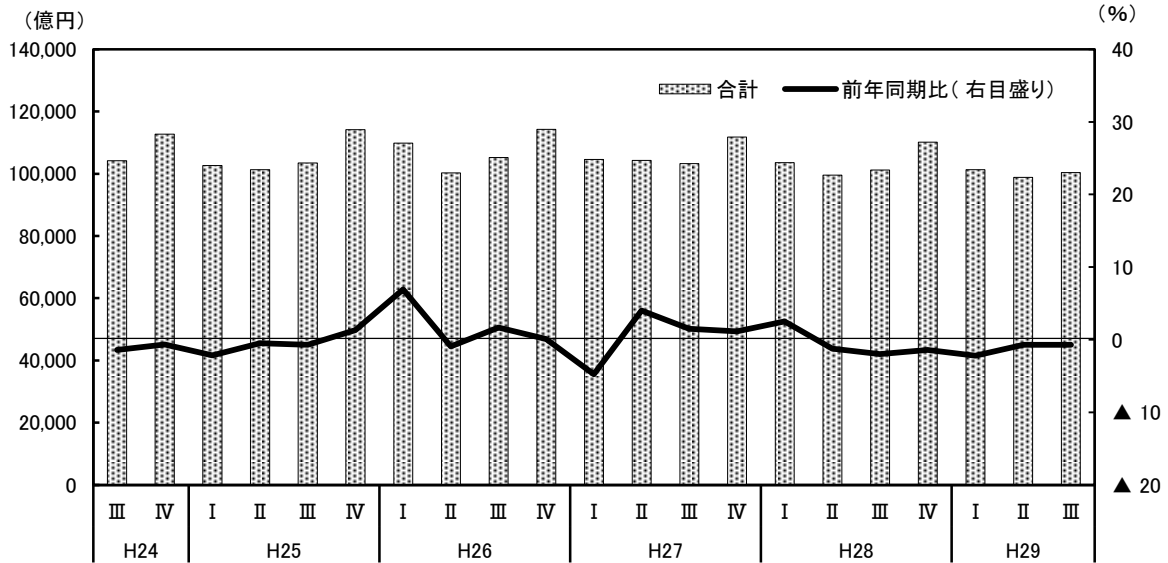
## 4 個人消費

### (1) 百貨店・スーパー販売額

平成 29 年第 3 四半期(7 月～9 月期)の百貨店・スーパー販売額は 1,004 億 2,200 万円で、全店舗比較の前年同期比は 0.7%の減少となり、6 期連続の減少となった。既存店比較の前年同期比は 0.2%の減少となり、6 期連続の減少となった。

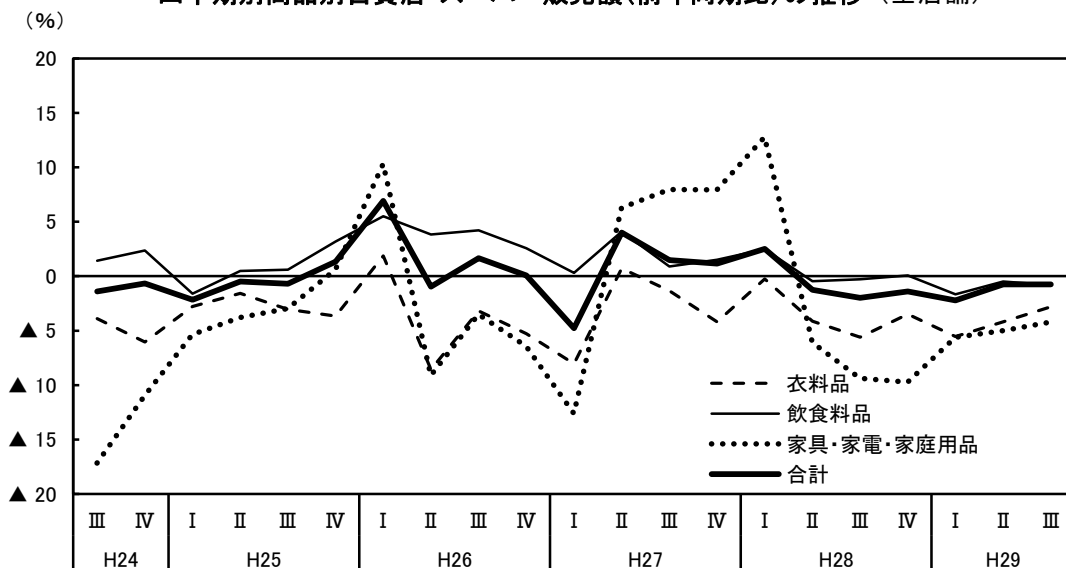
商品別にみると、飲食料品は前年同期比(全店舗比較)が 0.8%の減少となり、3 期連続の減少となった。衣料品は前年同期比(同)が 2.8%の減少となり、9 期連続の減少となった。家具・家電・家庭用品は前年同期比(同)が 4.2%の減少となり、6 期連続の減少となった。

四半期別百貨店・スーパー販売額の推移(全店舗)



(資料: 東北経済産業局)

四半期別商品別百貨店・スーパー販売額(前年同期比)の推移(全店舗)



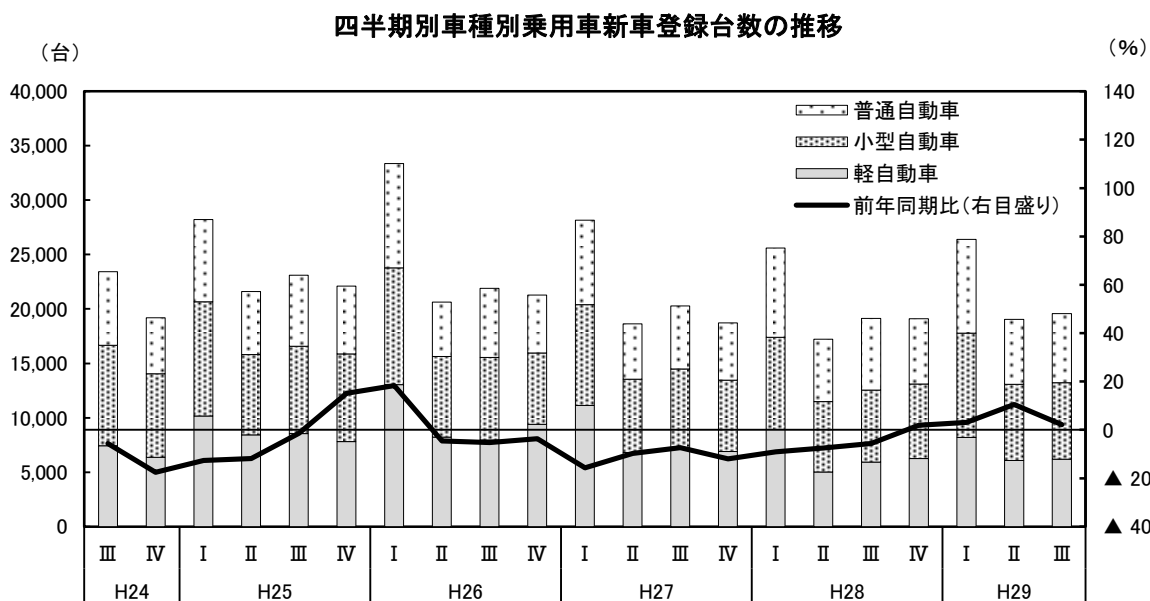
(資料: 東北経済産業局)

※ 平成 27 年第 3 四半期分よりそれ以前のデータとはリンク係数で補正(14 頁参照)

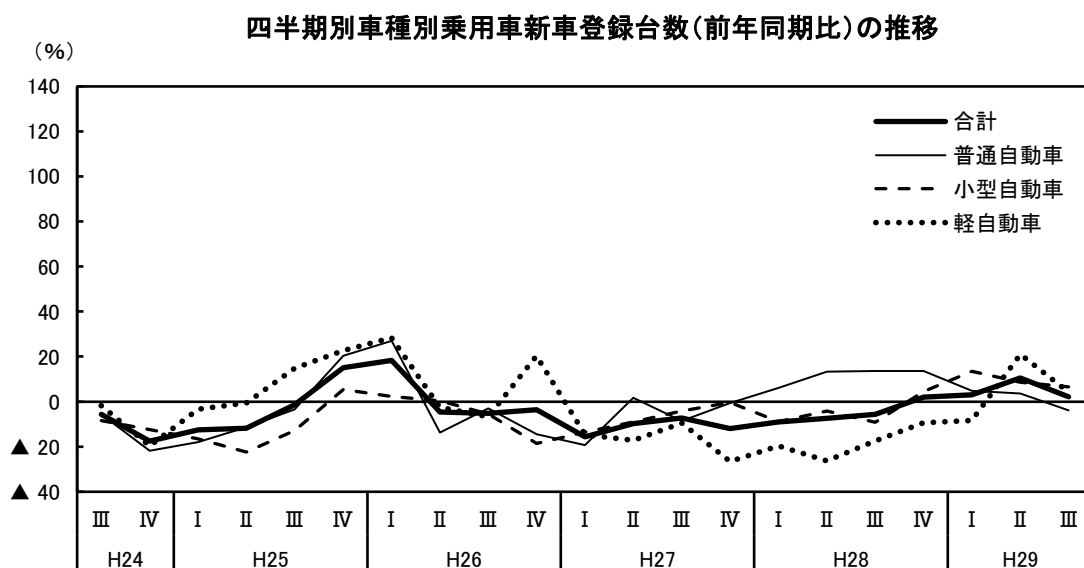
## (2) 乗用車新車登録台数

平成 29 年第 3 四半期 (7 月～9 月期) の軽自動車の新車届出台数を合わせた乗用車新車登録台数は 1 万 9,568 台で、前年同期比が 2.2% の増加となり、4 期連続の増加となった。

車種別にみると、小型車は前年同期比が 6.6% の増加となり、4 期連続の増加となった。軽自動車は前年同期比が 4.1% の増加となり、2 期連続の増加となった。普通車は前年同期比が 3.9% の減少となり、7 期ぶりの減少となった。



(資料:自動車販売協会連合会宮城県支部,全国軽自動車協会連合会)



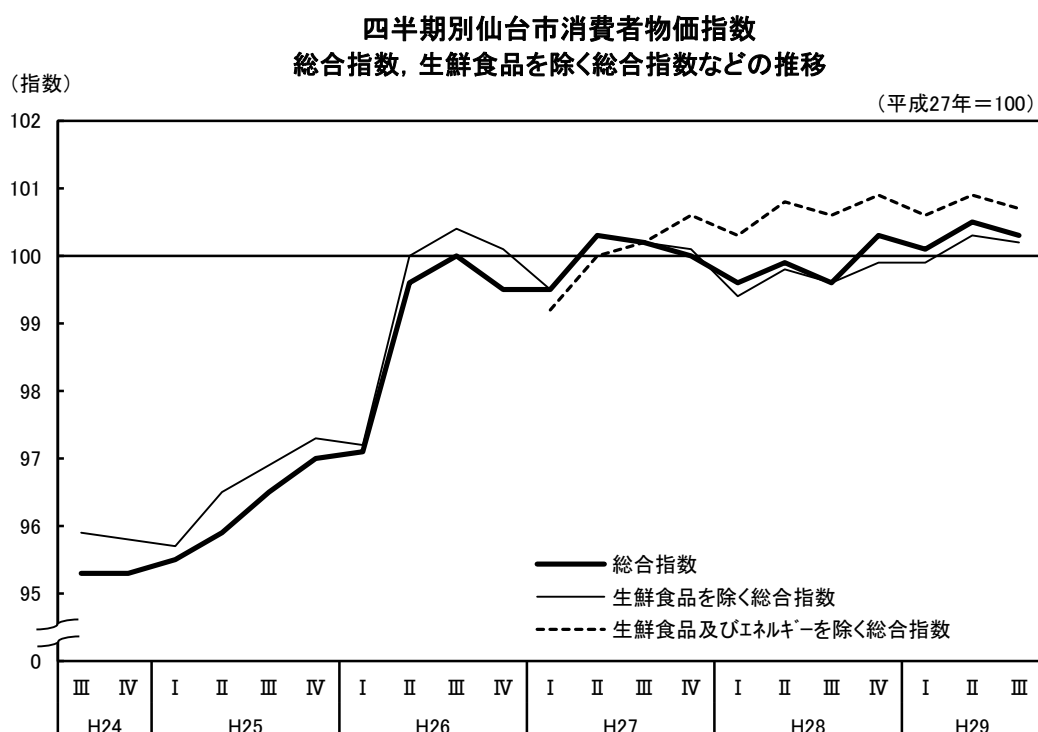
(資料:自動車販売協会連合会宮城県支部,全国軽自動車協会連合会)

### (3) 物 価

#### ○ 消費者物価指数

平成 29 年第 3 四半期(7 月～9 月期)の仙台市消費者物価指数(平成 27 年=100)は、総合指数は 100.3 で、前期比が 0.2% の下落となり、2 期ぶりの下落となった。生鮮食品を除く総合指数は 100.2 で、前期比が 0.1% の下落となり、4 期ぶりの下落となった。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 100.7 で、前期比が 0.2% の下落となり、2 期ぶりの下落となった。

前年同期比では、総合指数は 0.7% の上昇となり、4 期連続の上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は 0.6% の上昇となり、3 期連続の上昇となった。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 0.1% の上昇となり、7 期連続の上昇となった。



※ 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は平成 27 年 1 月分より公表(14 頁参照)。

(資料:宮城県統計課)

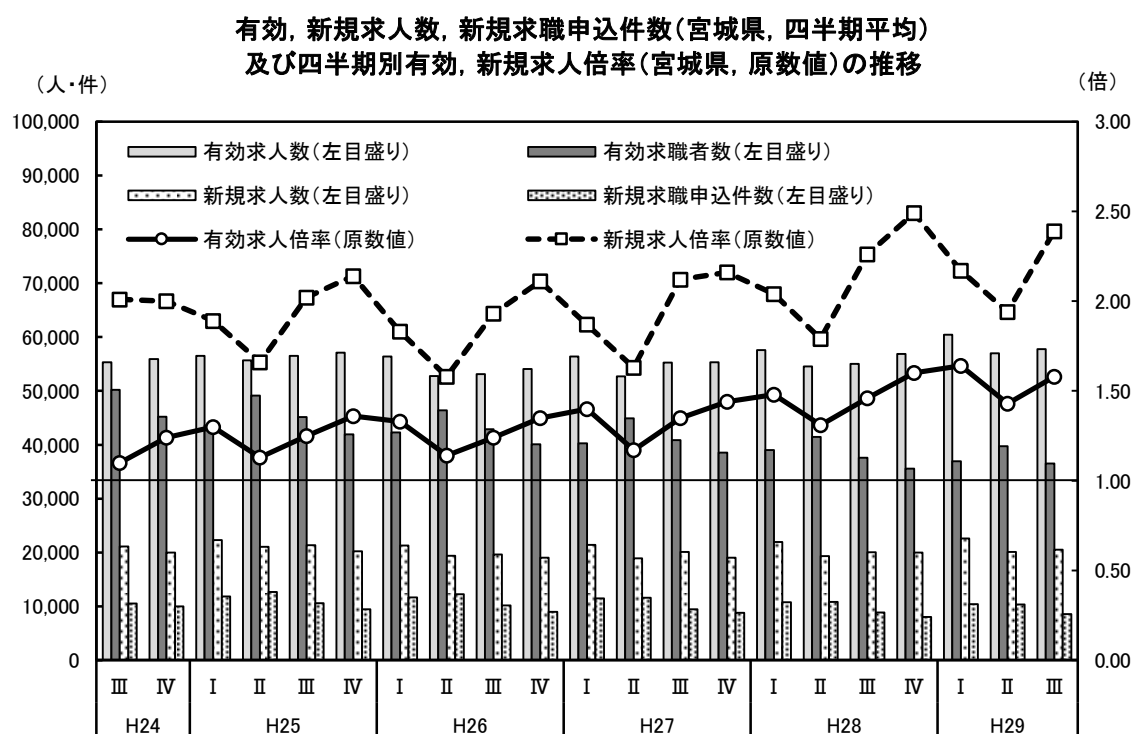


## 5 雇 用

### (1) 求人倍率

平成 29 年第 3 四半期(7 月～9 月期)の有効求人数(月平均値)は 5 万 7,778 人で、前年同期比が 5.0%の増加となり、4 期連続の増加となった。有効求職者数(同)は 3 万 6,530 人で、前年同期比が 2.8%の減少となり、22 期連続の減少となった。有効求人倍率(原数値)は 1.58 倍で前年同期差は、0.12 ポイント上昇し、11 期連続の上昇となった。

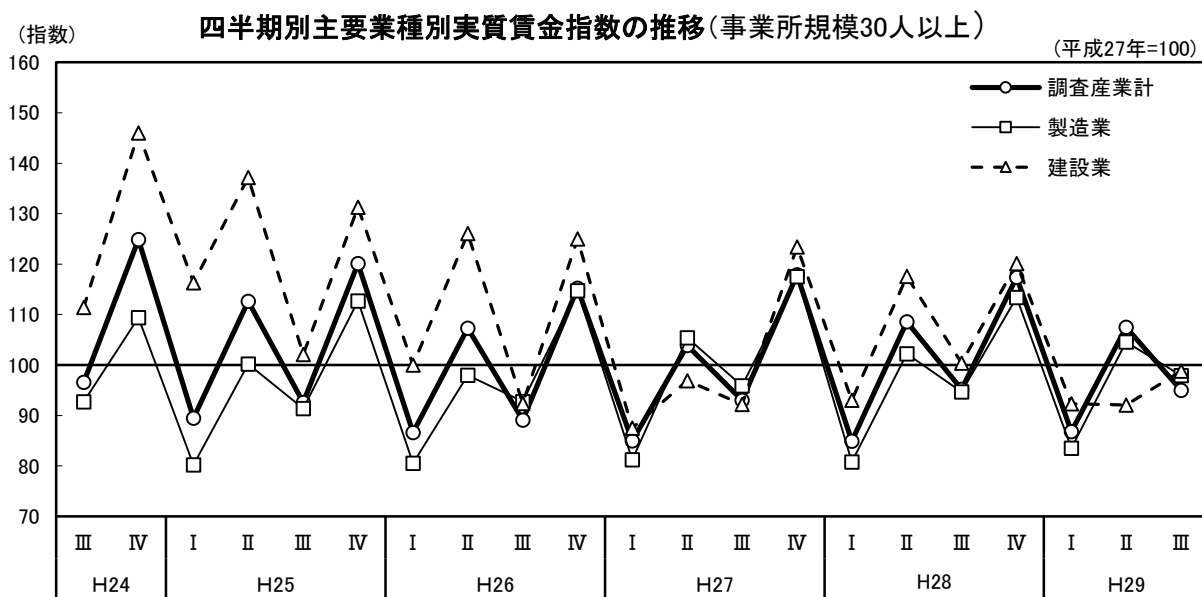
新規求人数(月平均値)は 2 万 527 人で、前年同期比が 2.4%の増加となり、4 期連続の増加となった。新規求職申込件数(同)は 8,573 件で、前年同期比が 3.3%の減少となり、16 期連続の減少となった。新規求人倍率(原数値)は 2.39 倍で前年同期差は、0.13 ポイント上昇し、11 期連続の上昇となった。



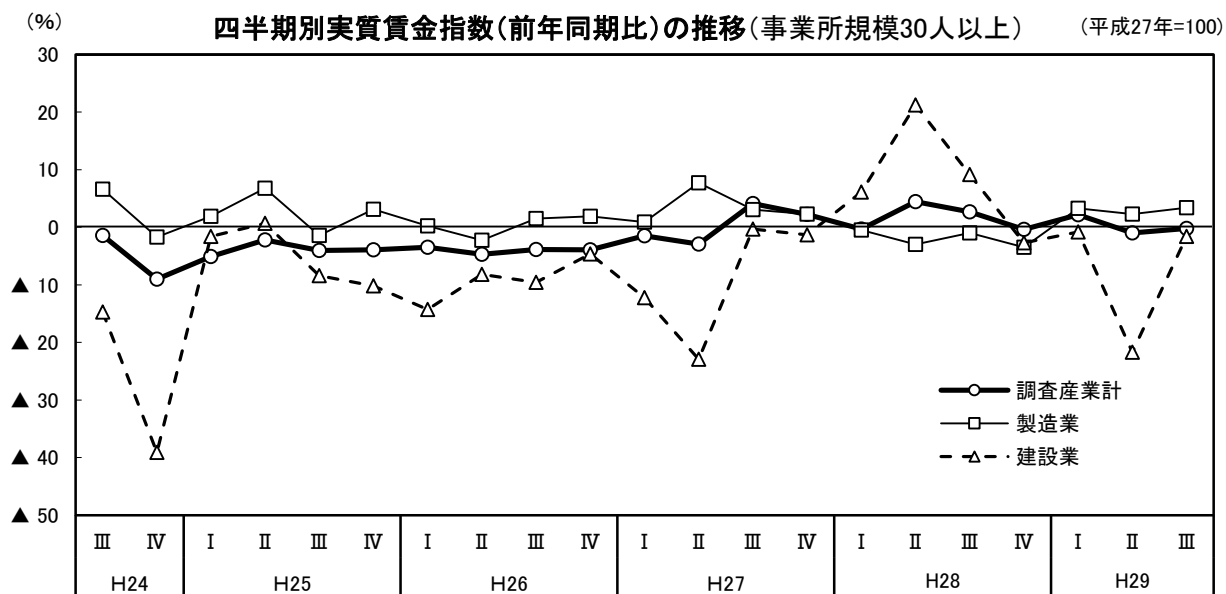
(資料: 宮城労働局)

## (2) 賃金

平成 29 年第3四半期(7月～9月期)の実質賃金指数(平成 27 年=100)は、調査産業計(事業所規模 30 人以上)は 95.0 で、前年同期比が 0.2%の低下となり、2期連続の低下となった。製造業(同)は 97.9 で、前年同期比が 3.4%の上昇となり、3期連続の上昇となった。建設業(同)は 98.8 で、前年同期比が 1.6%の低下となり、4期連続の低下となった。



(資料:宮城県統計課)



(資料:宮城県統計課)

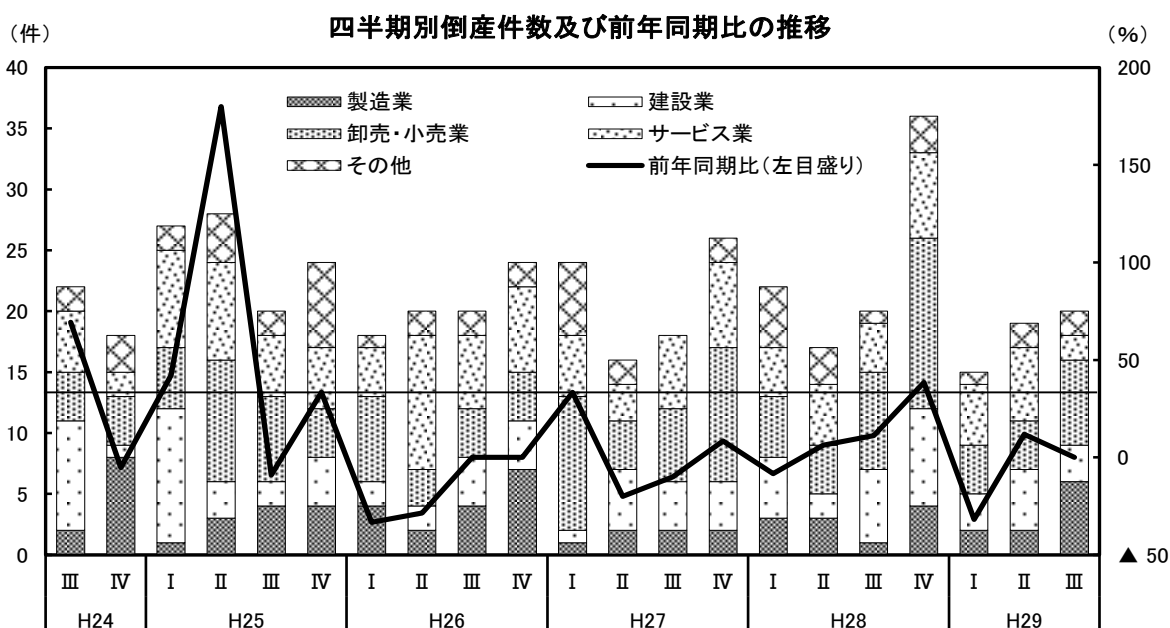
## 6 企業倒産

平成 29 年第 3 四半期(7 月～9 月期)の宮城県内の企業倒産(負債総額 1 千万以上)の件数は 20 件で、前年同期と同水準となった。

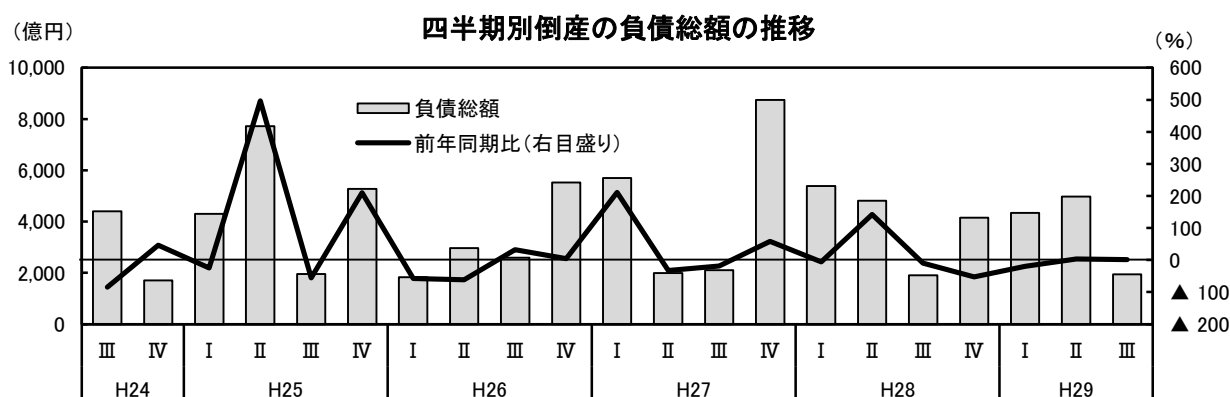
負債総額は 19 億 4,000 万円で、前年同期比が 1.7%の増加となり、2 期連続の増加となった。

これらのうちの不況型倒産(販売不振, 売掛金回収困難, 赤字累積, 既往のシワ寄せ)の件数は 14 件で、前年同期と同水準となった。件数の構成比は 70.0%で、前年同期と同水準となった。

大型倒産(負債総額 10 億円以上)は発生しなかった。



(資料):(株)東京商工リサーチ)



(資料):(株)東京商工リサーチ)